

事 務 連 絡
平成21年6月17日

各都道府県福祉用具・住宅改修担当者 様

厚生労働省老健局振興課

国保連合会介護給付適正化システムの改修における
福祉用具の介護給付の適正化の推進について

平素より介護保険に関する福祉用具の推進にご尽力いただき厚く御礼申し上げます。

福祉用具貸与の価格については、社会保障審議会介護給付費分科会において、以下のとおり取り纏められたところです。

これを踏まえ、当省といたしましては競争を通じた価格の適正化を推進するため、今年度の介護報酬改定に併せ、国保連合会介護給付適正化システム（以下、システム）を改修する旨、全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議等を通じご連絡したところでありますが、今般別添1のとおり国民健康保険中央会より各都道府県国保連合会に事務連絡を発出しましたので、情報提供します。

各都道府県におかれては、管内保険者・関係機関等へ積極的にご周知いただき、システムが活用されるようお取り計らい願います。

なお、価格等に関して行政指導を行う場合は、「私的独占及び公正取引の確保に関する法律」との関係に十分留意する必要があります。参考として別添2の公正取引委員会のガイドラインを送付させていただきます。

（参考）社会保障審議会介護給付費分科会「平成21年度介護報酬改定に関する審議報告（平成20年12月12日）」（一部抜粋）

「福祉用具貸与の価格については、同一製品で非常に高額になるケース等（いわゆる外れ値）が一部存在していること等を踏まえ、競争を通じた価格の適正化を推進するため、製品毎等の貸与価格の分布状況等の把握・分析・公表や、介護給付費通知における同一製品の貸与価格幅等の通知を可能とするなど、都道府県、市町村の取組を支援する。」

（連絡先）

厚生労働省老健局振興課福祉用具・住宅改修係
河口・石川・高木

TEL：03-5253-1111（内線：3985）

FAX：03-3503-7894

事 務 連 絡
平成21年6月12日

都道府県

国民健康保険団体連合会事務局長 殿

国民健康保険中央会

審議役 河野 孝 明

平成21年4月介護報酬改定に対応した介護給付適正化システムの拡充等について

本会の事業運営につきましては平素よりご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
さて、平成21年4月介護報酬改定に対応した国保連合会介護給付適正化システムの
拡充内容等について、別紙のとおりとりまとめましたので取り急ぎご連絡いたします。

記

1. 縦覧点検について

(1) プログラム提供予定時期

平成21年7月27日(月)

(2) 拡充内容

別紙の「I. 縦覧点検の拡充について」をご参照ください。

2. 給付実績を活用した情報提供及び介護給付費通知について

(1) プログラム提供予定時期

平成21年8月31日(月)

(2) 拡充内容

別紙の「II. 給付実績を活用した情報提供及び介護給付費通知の拡充について」
をご参照ください。

3. 医療給付情報との突合について

平成21年4月介護報酬改定に対応した変更はありません。

4. 国保連合会向け認定情報作成ソフト2009について

(1) 配布時期

平成21年7月10日(金) 連合会到着予定

※連合会分(1枚)及び保険者分を配布いたしますので、貴会より保険者への配布をお願いいたします。

(2) 拡充内容

別紙の「付録3. 認定情報の取込み」をご参照ください。

5. その他

(1) プログラム提供までの運用方法について

平成21年4月9日付事務連絡「平成21年4月介護報酬改定に伴う国保連合会介護給付適正化システムの運用等について」をご参照ください。

(2) 適正化関連マニュアルについて

「国保連合会介護給付適正化システム<提供情報活用マニュアル>」及び「介護給付適正化システム(Web検索機能)操作マニュアル」につきましては、平成21年秋～平成22年春頃の提供を予定しております。

配布時期等につきましては、別途ご連絡いたします。

<担当>

介護保険部介護保険課

: 小林、小澤

TEL: 03-3581-6835

FAX: 03-5251-1799

(別紙)

平成21年4月介護報酬改定等にかかる
介護給付適正化システムの機能拡充について

国民健康保険中央会

介護保険部介護保険課

Ⅱ 給付実績を活用した情報提供及び介護給付費通知の拡充について

3. 福祉用具貸与費の外れ値把握にかかる拡充

福祉用具貸与費外れ値公表制度に伴い、国保連合会介護給付適正化システムにおいて以下の機能拡充を行う。

項番	項目	対応概要
(1)	福祉用具貸与費一覧表の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の情報に加えて、全国・都道府県の最低単位数、最高単位数、最頻単位数、希望小売価格を出力する。 ・全国又は都道府県又は事業所所在保険者のヒストグラム作成用データ分布状況を出力する。 ・事業所所在保険者毎の最低単位数、最高単位数、最頻単位数、平均単位数を出力する。 ・データ出力時に「最高単位数－最低単位数」が指定した値以上のもの、指定したヒストグラム横軸範囲に該当するもの、最頻単位数＋指定した単位数以上のもの、を抽出する条件指定を追加する。
(2)	新規適正化帳票の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具貸与費一覧表の内容を以下の単位で集計した帳票を作成する <ul style="list-style-type: none"> ① 品目毎（全国及び都道府県単位） ② 事業所毎（全国及び都道府県単位） ・（1）で拡充した内容の福祉用具貸与費一覧表を被保険者所在保険者向けとして、各保険者宛に出力する。
(3)	介護給付費通知書の拡充	福祉用具貸与品目毎に、最低単位数、最高単位数、最頻単位数、請求件数、希望小売価格、ヒストグラム作成用データ分布状況等を出力する（インタフェースの変更）

Ⅱ 給付実績を活用した情報提供及び介護給付費通知の拡充について

(1) 福祉用具貸与費一覧表の拡充

【現状】

都道府県単位、又は、福祉用具貸与を行った事業所が所在する保険者単位に、事業所+保険者+被保険者+サービスコード+品目コード毎の情報を作成している。出力対象となるのは当該品目を月を通じて利用している場合、かつ、品目コードがT A I Sコードである場合のみである。

福祉用具貸与費一覧表

保険者番号 990001

保険者名 テスト市

抽出条件	サービス提供年月	2007年04月
抽出項目	全国平均割合	
割合	15%以上	
抽出項目	都道府県平均割合	
割合	15%以上	

平成 20年 2月 1日 作成

〇〇県国民健康保険協会

事業所番号	事業所名	事業所所在 保険者番号	事業所所在保険者名	保険者番号	保険者名	被保険者番号	被保険者名	要介護度	障害等級 自立度	認知症 自立度	支援事業所 番号	支援事業所 名	サービス コード	品目コード	商品名	提供単位数	全国		都道府県		更新年月
																	平均単位数	割合	平均単位数	割合	
9970100319	テスト事業所2	990001	テスト市	990001	テスト市	0000000001	たんつた1	要介護2	A 1	1	9970100137	事業所04B	171004	00170-000070	ベッドサイドレール(2本セット)	100	60	74	200705		
9970100319	テスト事業所2	990001	テスト市	990001	テスト市	0000000002	たんつた2	要介護2	A 1	1	9970100137	事業所04B	171004	00170-000224	スイングアーム介助バー	400	200	179	200705		
9970100319	テスト事業所2	990001	テスト市	990001	テスト市	0000000003	たんつた3	要介護4	A 1	自立	9970102166	事業所126	171004	00170-000068	ベッドサイドレール(2本組)	100	62	60	200705		
9970100319	テスト事業所2	990001	テスト市	990001	テスト市	0000000004	たんつた4	要介護3			9970100244	事業所055	171004	00170-000070	ベッドサイドレール(2本セット)	100	60	74	200705		

- ・ 全国又は都道府県の「平均単位数」は出力対象となる「提供単位数」の算術平均により求めている。
- ・ 全国又は都道府県の「割合」は各レコードの「提供単位数」÷「平均単位数」により求めている。
- ・ 連合会、都道府県、事業所所在保険者は、全国又は都道府県の「割合」が指定した割合以上(又は以下)の情報のみを抽出する。

Ⅱ 給付実績を活用した情報提供及び介護給付費通知の拡充について

【ヒストグラムの作成について】

ヒストグラムの横軸は下表のように定義する。(平成20年4月サービス分の調査結果により、平成21年度に適用する値として決定する。)

項目コード	サービス名称	CCTAコード	開始	終了	刻み幅	開始単位数～終了単位数の範囲に含まれる割合
1001	車いす貸与	下記以外	400 未満	1,200 以上	100	(対象のCCTAコードを分母とする場合) 96.58%
		122124, 122127	1,540 未満	2,660 以上	140	(対象のCCTAコードを分母とする場合) 94.38%
1002	車いす付属品貸与	—	200 未満	1,000 以上	100	93.85%
1003	特殊寝台貸与	—	600 未満	1,400 以上	100	98.53%
1004	特殊寝台付属品貸与	—	100 未満	900 以上	100	99.98%
1005	床ずれ防止用具貸与	—	400 未満	1,200 以上	100	96.78%
1006	体位変換器貸与	—	200 未満	1,000 以上	100	94.43%
1007	手すり貸与	—	200 未満	1,000 以上	100	97.66%
1008	スロープ貸与	—	400 未満	1,200 以上	100	98.09%
1009	歩行器貸与	—	200 未満	1,000 以上	100	99.94%
1010	歩行補助つえ貸与	—	100 未満	900 以上	100	100%
1011	徘徊感知機器貸与	—	550 未満	1,750 以上	150	94.11%
1012	移動用リフト貸与	下記以外	750 未満	2,780 以上	250	(対象のCCTAコードを分母とする場合) 99.40%
		123612	1,750 未満	3,750 以上	250	(対象のCCTAコードを分母とする場合) 99.17%
		183006	950 未満	3,750 以上	350	(対象のCCTAコードを分母とする場合) 99.91%

※ヒストグラムを作成する際の項目コードは当該TAISコードで最も件数の多いものに従うこととする。(同数の場合は若いもの)

※横軸の見直しは、年に1回行う。(4月サービス(5月審査)のTAISコード集信時に分布状況を確認し、範囲・刻み値について厚生労働省殿の了解を得て決定するものとする。)

※適性化加工情報には請求件数によらず全てのヒストグラム作成用データを出力する。

II 給付実績を活用した情報提供及び介護給付費通知の拡充について

【二次加工画面】 指定した抽出項目の条件を全て満たすデータを抽出する。

福祉用具貸与費に偏りがある事業所の抽出

サービス提供年月 年 月 ~ 年 月 ※年度は西暦入力(年:yyyy 月:mm)
※開始年月から終了年月の期間は12ヶ月以内

抽出項目情報

<input checked="" type="checkbox"/>	全国平均価格割合	<input type="text"/> %	※入力値範囲:0~999
	条件	もしくは	
<input checked="" type="checkbox"/>	都道府県平均価格割合	<input type="text"/> %	※入力値範囲:0~999
	抽出区分	<input checked="" type="radio"/> 以上 <input type="radio"/> 以下	
<input checked="" type="checkbox"/>	全国の「最高単位数」-「最低単位数」	<input type="text"/> 単位以上	※入力値範囲:0~999999
<input checked="" type="checkbox"/>	都道府県の「最高単位数」-「最低単位数」	<input type="text"/> 単位以上	※入力値範囲:0~999999
<input checked="" type="checkbox"/>	全国の最頻単位数から	+ <input type="text"/> 単位以上	※入力値範囲:0~999999
<input checked="" type="checkbox"/>	都道府県の最頻単位数から	+ <input type="text"/> 単位以上	※入力値範囲:0~999999
<input checked="" type="checkbox"/>	単位数分布状況の範囲	範囲 <input type="text"/>	※入力値範囲:1~10 <input checked="" type="radio"/> であるもの <input type="radio"/> 以上であるもの
	ヒストグラムデータ	<input checked="" type="radio"/> 全国 <input type="radio"/> 都道府県 <input type="radio"/> 保険者	

① ページが表示されました マイコンピュータ

【抽出項目追加】

全国（又は都道府県）における、最高単位数と最低単位数の差が、指定した単位数以上の品目を抽出

全国（又は都道府県）における、最頻単位数から指定した単位数以上である品目を抽出

指定した単位数分布範囲（以上）に存在する品目を抽出

ヒストグラム作成に使用するデータを指定する。既定値は全国

Ⅱ 給付実績を活用した情報提供及び介護給付費通知の拡充について

(2) 新規適正化帳票の作成

・福祉用具貸与費一覧表の内容を、都道府県又は全国単位に、①品目毎、②事業所+品目毎に集計した資料を作成する。

①品目毎 (※分析に資する情報)

福祉用具貸与費一覧表 (品目別)

都道府県番号	99	
都道府県名	テスト県	
提出年月	サービス提供年月	2009年04月
平成 21年 10月 1日 作成		
〇〇県国民健康保険団体連合会		

品目コード	品名	請求件数	希望小売価格	全国				都道府県				保険者				更新年月
				最頻単位数	最長単位数	最高単位数	平均単位数	最頻単位数	最長単位数	最高単位数	平均単位数	最頻単位数	最長単位数	最高単位数	平均単位数	
00170-000070	ベッドサイドレール (2本セット)	200	11,000	50	24	200	60	50	24	200	74	50	24	200	74	200905
00170-000274	スイングアーム介助バー	300	45,000	100	50	800	200	100	50	800	179	100	50	800	179	200905
00170-000068	ベッドサイドレール (2本組)	500	15,000	50	24	300	62	50	24	300	60	50	24	300	60	200905

②事業所+品目毎 (※二次加工情報のみ)

福祉用具貸与費一覧表 (事業所別)

都道府県番号	99	
都道府県名	テスト県	
提出年月	サービス提供年月	2009年04月
提出項目	全国平均割合	事業所番号
割合	15%以上	
提出項目	都道府県平均割合	品目コード
割合	15%以上	
平成 21年 10月 1日 作成		
〇〇県国民健康保険団体連合会		

事業所番号	事業所名	事業所所在都道府県番号	事業所所在都道府県名	品目コード	品名	請求件数	最頻単位数	最長単位数	最高単位数	平均単位数	希望小売価格	全国				都道府県				更新年月		
												最頻単位数	最長単位数	最高単位数	平均単位数	割合	最頻単位数	最長単位数	最高単位数		平均単位数	割合
9900000001	テスト事業所 1	990001	テスト県	00170-000070	ベッドサイドレール (2本セット)	20	50	24	200	100	11,000	50	24	200	60	147%	50	24	200	74	135%	200905
9900000005	テスト事業所 5	990001	テスト県	00170-000274	スイングアーム介助バー	30	100	50	800	400	45,000	100	50	800	200	200%	100	50	800	179	225%	200905
9900000009	テスト事業所 9	990001	テスト県	00170-000068	ベッドサイドレール (2本組)	50	50	24	300	100	15,000	50	24	300	62	161%	50	24	300	60	147%	200905
9900000002	テスト事業所 2	990001	テスト県	00170-000070	ベッドサイドレール (2本セット)	40	50	24	200	100	11,000	50	24	200	60	187%	50	24	200	74	135%	200905

・(1) で拡充した内容の福祉用具貸与費一覧表を被保険者所在保険者向け (一次・二次加工情報) として、各保険者宛に出力する。

福祉用具貸与費一覧表 (被保険者所在保険者)

都道府県番号	99001	
都道府県名	テスト県	
提出年月	サービス提供年月	2009年04月
提出項目	全国平均割合	事業所番号
割合	15%以上	
提出項目	都道府県平均割合	品目コード
割合	15%以上	
平成 21年 10月 1日 作成		
〇〇県国民健康保険団体連合会		

品目番号	品名	品目コード	品名	請求件数	希望小売価格	全国				都道府県				保険者				更新年月
						最頻単位数	最長単位数	最高単位数	平均単位数	最頻単位数	最長単位数	最高単位数	平均単位数	最頻単位数	最長単位数	最高単位数	平均単位数	
0000000001	ベッドサイドレール (2本セット)	00170-000070	ベッドサイドレール (2本セット)	100	11,000	50	24	200	60	50	24	200	74	50	24	200	74	200905
0000000002	スイングアーム介助バー	00170-000274	スイングアーム介助バー	400	45,000	100	50	800	200	100	50	800	179	100	50	800	179	200905
0000000003	ベッドサイドレール (2本組)	00170-000068	ベッドサイドレール (2本組)	100	15,000	50	24	300	62	50	24	300	60	50	24	300	60	200905

Ⅱ 給付実績を活用した情報提供及び介護給付費通知の拡充について

【二次加工画面】

(2) ②の抽出指示を行う画面。

事業所別福祉用具貸与品目一覧の抽出 - Microsoft Internet Explorer

ユーザID: H00009900010
経過時間:

国保連合会における介護給付適正化

事業所別福祉用具貸与品目一覧の抽出

サービス提供年月: 2007年 01月 ~ 年 月
※年度は西暦入力(年:yyyy. 月:mm)
※開始年月から終了年月の期間は12ヶ月以内

抽出項目情報

事業所番号	<input type="text"/>
福祉用具品目コード	<input type="text"/>

ページが表示されました ● インターネット

※ 福祉用具貸与費一覧表（被保険者所在保険者）は、(1)の福祉用具貸与費一覧表出力時に、同じ指定条件で抽出される。

Ⅱ 給付実績を活用した情報提供及び介護給付費通知の拡充について

(3) 介護給付費通知書の拡充

インタフェースに新たに「福祉用具貸与品目情報レコード」を追加する。

・福祉用具貸与品目情報レコード（複数レコード）

以下の条件の全てを満たす場合、給付費通知出力対象期間に含まれる全てのサービス提供年月分について出力する。

- ・ 明細レコードのサービス種類が“17：福祉用具貸与”又は“67：介護予防福祉用具貸与”である。
- ・ 摘要欄にTAISコードの記載がある。
- ・ 月を通じて利用されている。
- ・ 福祉用具貸与品目情報を出力するオプションを選択した保険者である。
- ・ ヒストグラム出力条件は（1）【拡充後】に記載する内容に従う。
- ・ 但し、全国データ、都道府県データのいずれも、全国で100件以上請求の存在する品目のみヒストグラム作成用データを出力する。

【帳票レイアウト】

出力条件に該当する場合、「介護給付費通知」「介護給付費通知改頁」に続けて出力する。

サービス提供年月＋福祉用具品目（3品目ずつ）の単位で1枚作成する。

II 給付実績を活用した情報提供及び介護給付費通知の拡充について

介護給付費通知書（福祉用具貸与品目）

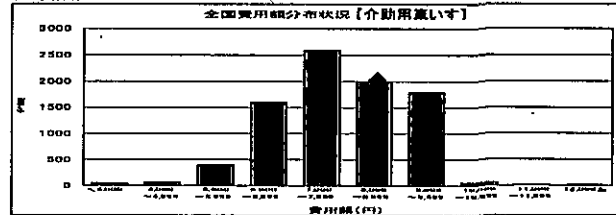
〇〇〇〇様（被保険者番号：14207700XX）
 ○ このお知らせは、あなたが利用する製品と同じものの費用額の分布と、
 あなたの費用額が分布のどこに位置するかを知っていただくためのものです。

平成 20 年〇 月分

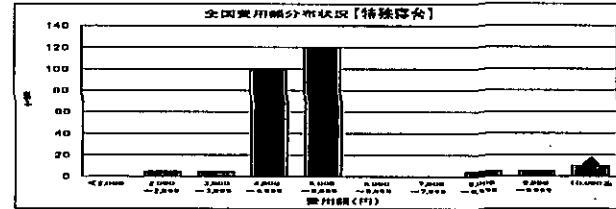
【あなたが利用した福祉用具と費用】

サービス事業所	TAISコード	福祉用具商品名	費用額
福祉用具貸与事業所	99999-999999	介助用車いす	8,000
福祉用具貸与事業所	99999-999999	特殊寝台	10,500
福祉用具貸与事業所	99999-999999	特殊寝台付属品	2,000

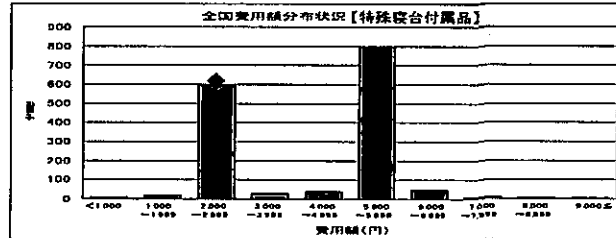
参考情報



	全国	都道府県	保険者
請求件数	10,000	1,000	100
最低費用額	2,000	2,500	2,000
最頻費用額	2,500	7,500	7,000
最高費用額	120,000	100,000	100,000
平均費用額	12,220	10,250	9,700



	全国	都道府県	保険者
請求件数	500	80	10
最低費用額	1,000	1,000	1,000
最頻費用額	5,500	5,500	5,000
最高費用額	12,500	11,500	11,000
平均費用額	4,500	4,167	4,000



	全国	都道府県	保険者
請求件数	2,000	500	10
最低費用額	500	1,000	2,000
最頻費用額	5,500	5,500	5,000
最高費用額	10,000	10,000	9,500
平均費用額	3,500	3,667	3,833

※ 費用額は、あなたが福祉用具をレンタルされた際にお支払いになった金額と保険給付額の合計額を記載しています。（特別地域加算分を除く。）

※ 右の表では、あなたが借りている福祉用具と同一製品の貸与価格について、全国、都道府県、保険者それぞれの範囲での、「最低費用額（最も安い価格）」、「最頻費用額（最も請求の多い価格）」、「最大費用額（最も高い価格）」、「平均費用額（平均値）」を表しています。

また、費用額には、搬出入費、メンテナンス費等のサービス費用が含まれている場合もあり、また、価格の分布状況等により平均費用額等が必ずしも代表値とはいえない場合があります。

※ グラフでは、同一製品の価格について、それぞれの価格幅（横軸）について、どれくらい貸与されているのか（縦軸）を示しており、更にあなたが借りた価格（点）も示しています。なお、適正価格を表したものではありません。

（標準価格のイメージ。記載する福祉用具数、注釈等は保険者により変更可能。）

独占禁止法

[公正取引委員会トップページへ](#)[ホーム](#) > [独占禁止法ホーム](#) > [法令・ガイドライン等](#) > [行政指導に関する独占禁止法上の考え方](#)

行政指導に関する独占禁止法上の考え方

(平成六年六月三十日公正取引委員会)

はじめに

我が国においては、広範な分野において様々な形で行政指導が実施されており、行政指導は、行政の中で大きな比重を占めている。このような行政指導は、行政需要への機敏な対応、行政の弾力性の確保、行政目的の円滑な達成等のために行われている。一方、行政運営の公正の確保と透明性の向上を図るため、行政手続法(平成五年法律第八八号)が制定され、同法において、行政指導の濫用を防止するとともに、行政指導の明確性及び公平性を確保する観点から、行政機関が行政指導を行う場合に遵守すべき事項について一定の規定が設けられている。

近年、消費者利益を確保することや我が国市場をより開かれたものとするのが内外から求められており、そのためには公正かつ自由な競争の維持・促進を図ることが重要となっている。また、公正かつ自由な競争を一層促進するとの観点からも規制緩和が積極的に進められているが、法令による規制が緩和又は廃止されたとしても仮に行政指導により事実上同様のことが行われれば、規制緩和の趣旨に反する結果となる。

行政指導は、行政機関が多様な目的のために行っているが、その中で、事業者の参入・退出、商品又は役務の価格、数量、設備等に直接・間接に影響を及ぼすような行政指導は、その目的、内容、方法等によっては、公正かつ自由な競争を制限し、又は阻害するとともに、独占禁止法違反行為を誘発する場合さえあることに十分留意する必要がある。

事業者又は事業者団体の行為については、たとえそれが行政機関の行政指導により誘発されたものであっても、独占禁止法の適用が妨げられるものではない。公正取引委員会は、当該事業者又は事業者団体の行為が独占禁止法違反行為の要件に該当するときは、当該行為を排除するための法的措置等を講じている。事業者又は事業者団体が行政指導に従って独占禁止法上問題のある行為を行った場合、当該行為について直接的責任を問われるのは行政指導に従った事業者又は事業者団体となることから、行政機関は行政指導を行うに当たって、この観点からも慎重であることが求められるものである。また、このような場合、事業者又は事業者団体は、行政指導に従った行為であっても独占禁止法上問題となることを十分留意する必要がある。

公正取引委員会は、独占禁止法との関係において問題を生じさせるおそれがある行政指導については、従来、個々の事案ごとに事前に関係行政機関と調整を図り、問題点を指摘し、改善等を要望してきたところである。今般、公正取引委員会は、これまでの他の行政機関との調整事例や独占禁止法違反被疑事件の審査の過程等で認められた事例を踏まえて、行政指導に関する独占禁止法上の考え方を具体的に明らかにするため、「行政指導に関する独占禁止法上の考え方」(以下「本考え方」という。)を作成・公表することとした。行政機関においては、本考え方に十分留意するとともに、本考え方で示したような独占禁止法との関係において問題を生じさせるおそれがある行政指導を行うに当たって個々の事案ごとに事前に公正取引委員会と調整することを期待するものである。

なお、本考え方の作成・公表に伴い、「独占禁止法と行政指導との関係についての考え方」(昭和三十六年三月一六日公正取引委員会)を廃止する。

本考え方においては、次の用語は、以下のような意味を持つものとする。

- 行政指導
行政機関がその任務又は所掌事務の範囲内において一定の行政目的を実現するため特定の者に一定の作為又は不作為を求める指導、勧告、助言その他の行為であって処分に該当しないものをいう。
- 行政機関
地方公共団体の機関を含む。
- 法令
法律、法律に基づく命令(告示を含む。)、条例及び地方公共団体の執行機関の規則(規程を含む。)をいう。
- 許認可等

公正取引委員会：行政指導に関する独占禁止法上の考え方

法令に基づき許可、認可、免許その他事業者に対し何らかの利益を付与する処分をいう。

- ・ 事業者
商業、工業、金融業その他の事業を行うものをいう。
- ・ 事業者団体
事業者としての共通の利益を増進することを主たる目的とする二以上の事業者の結合体又はその連合体をいう。
- ・ 参入・退出
既存事業分野への参入・退出のほか、新規事業分野、地域市場等への参入・退出等を含む。
- ・ 価格
割戻し、値引等実質的に価格の構成要素となるものを含む。
- ・ 設備
生産設備のほか、店舗等を含む。

1 行政指導と独占禁止法との関係についての基本的な考え方

(1) 法令に具体的な規定がある行政指導

法令に助言、指導、勧告、指示等の具体的な規定がある行政指導の場合、当該行政指導の目的、内容、方法等は当該法令の規定に合致したものでなければならず、その相手方が個々に自主的に判断して、このような行政指導に従う限り、当該行政指導の相手方の行為は独占禁止法上問題とはならない。しかしながら、独占禁止法の適用除外規定がない限り、当該行政指導によって誘発された行為であっても独占禁止法違反行為の要件に該当する場合には、当該行為に対する同法の適用が妨げられるものではない。

また、法令に命令、認可、勧告、指示等の規定が定められている場合であって、法令の運用として、その規定を発動することができる実体要件が存在するときに、その規定の発動の前段階又は代替として行われる行政指導についても、独占禁止法との関係についての考え方は法令に具体的な規定がある行政指導と同様である。

なお、法令に具体的な規定があってもその目的、内容、方法等が当該法令の規定に合致しない行政指導又は各省庁設置法の規定若しくは事業法令上の一般的な監督権限を根拠とする行政指導は、ここでいう法令に具体的な規定がある行政指導とは言えない。

(2) 法令に具体的な規定がない行政指導

法令に具体的な規定がない行政指導の場合、行政機関は、当該行政指導の中には、その目的、内容、方法等によっては、公正かつ自由な競争を制限し、又は阻害するとともに、独占禁止法違反行為を誘発する場合さえあることに、十分留意する必要がある。行政指導によって誘発された行為であっても独占禁止法違反行為の要件に該当する場合には、当該行為に対する同法の適用が妨げられるものではないことは言うまでもない。

法令に具体的な規定がない行政指導の目的、内容及び方法と独占禁止法との関係についての考え方は、次のとおりである。

ア 行政指導の目的との関係

行政指導は、物価の安定、国民生活の安定又は充実、取引の公正性・透明性の確保、環境保全、保険衛生の向上、安全性の向上、中小企業保護等多様な行政目的のために行われているが、その中で、過度の競争の防止、需給調整、価格低下の抑制、事業者間の利害調整、業界の秩序維持といった観点から行われる行政指導は、市場メカニズムに直接的な影響を及ぼすこととなる。

イ 行政指導の内容との関係

行政指導は、その内容が多岐にわたり、また、その市場における競争に及ぼす影響も区々である。

参入・退出、商品又は役務の価格、数量、設備等は、本来、市場における事業者の公正かつ自由な競争を通じて形成され、又は決められるべきものである。これらの事項についての事業者の自由な活動を制限するおそれのある行政指導は、市場メカニズムに直接的な影響を及ぼすこととなる。

他方、営業方法、品質・規格、広告・表示等は、事業者の重要な競争手段ではあるが、参入・退出、価格、数量、設備等と比べ市場メカニズムに及ぼす影響が直接的であるとは必ずしも言えない。

ウ 行政指導の方法との関係

内容に具体性のある行政指導は、事業者が他の事業者もこれに従うことを前提としてのみ従おうとする場合が多いので、事業者団体を通じて行う場合、独占禁止法違反行為を最も誘発しやすい。個別事業者に対する行政指導であっても、例えば、特定の事業分野における主導的な事業者に対して行う場合、特定の事業分野に属する相当数の事業者に対して画一的な基準を定める等の方法により行う場合、事業者間に競争制限につ